

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、12月3日から5日まで及び8日の、4日間をかけて、18人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。一般質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



とだが ききたい

主な議案

一般質問

知つとこロワイズ

委員会視察レポート

特集議会を知つとこ

数が約4バックとなっており、また、ケアマネジャーから、紙おむつが余っている場合が多いとの声も寄せられていることから、適正な利用の観点も含めて限度数を5バックとした。



花井伸子議員

大幅カットと費用負担増大に反対

①支援金を支えにしてきた介護家庭の意向も聞かず、一挙に3分の1に大幅にカットすることには賛成できない

②紙おむつ等支給事業について、市民要望の高かった入院中の紙おむつ代の助成が創設されたこと等は評価するが、一般家庭においては利用料負担の値上げ、さらに支給バックの限度を削減する二重の改正であり、費用負担が増大する③はめられた枠の中で高齢者

福祉サービスの予算を捻出しようとするれば、当然従来のサービスを切る方向に行かざるを得ない。これまでの制度の検証をすることなく、市の財政的な理由で一気に削減というやり方には賛同できない。反対する。



竹内正明議員

サービスを持続可能とするために必要な改正

戸田市における介護給付費総額は、介護保険創設当時の11億円に比べ、25年度末には46億円となっており、一般会計からの繰り出しも4・2倍と増えている。これから75歳以上の人口が増える見込みである中、在宅要介護高齢者介護支援金制度を、金額は削減しながらも、これまでの事業内容を継続できるように努力していることは、

他市の状況と比較しても評価できる。また、紙おむつ等支給事業も、多数の利用者が5バック以内であること、また、要望のあった、入院者に対する現金支給という新たなサービスも開始される。今回の改正は、本市の厳しい財政状況を考慮しつつ、高齢者サービスを継続可能とするために必要な改正であると評価し、賛成討論とする。

《結果》
原案可決(21対4)

国民健康保険条例の一部改正

産科医療保障制度の見直しにより、出産育児一時金として産児1人につき39万円を支給していたものを40万4千円に改め、葬祭費として死亡者1人につき8万円を支給していたものを5万円に改めるものです。

質疑

Q 葬祭費を減額するに至った理由は。

A 戸田市の国保財政は非常に厳しい状況にあり、一般会計から多額の法定外繰り入れを行っている現状から、少しでも歳出の抑制に努めるべきであると判断した。さらに、県内市町村の支給額は、本市以外の全ての市町村国保で5万円の支給となっており、平成20年度に創設された75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度においても、葬祭費は広域連合において5万円と統一して定められている。こうした状況を踏まえ、葬祭費の減額の判断をした。

《結果》
原案可決(21対4)
※葬祭費8万円を維持すべきとして、反対がありました。

海外留学奨学金基金条例の一部改正

戸田市海外留学奨学金基金は、前途有為な青年を育成するため、市内在住の篤志家から1億円の寄附金をいただき、昭和52年度に設置したものです。海外の大学に留学する人に奨学金及び渡航費用を給与する制度について、基金の利息で運用してきましたが、昨今の低金利状態や本制度の申請者数の増加に伴い、ここ2年程度で利息を使い切ることが見込まれるため、原資を取り崩すことができよう改正するものです。給与制度の見直しを行うことで、今後20年程度、制度を存続させることができるかと考えていますが、基金残高を使い切った時点で事業を終了する方向性でいます。

《結果》
原案可決(全員一致)

教育委員会委員

羽富 正晃氏(再任)
《結果》
同意(全員一致)

請願の結果

〔不採択(1件)〕
▼集団的自衛権の行使容認に関する意見書提出を求める請願

〔取り下げ(1件)〕
▼国民健康保険税の引き下げを求める請願

〔継続審査(新規提出分)〕
○国民健康保険税の引き下げ等を求める請願

さくらパル

オープン後

約8カ月の現況は

「設置目的に合った一定数利用あり」

熊本照明議員

プロが生かされ、市想定成果は得られたか。

議員 多世代交流が目的のコミュニティ施設としてオープンした「さくらパル」の利用状況と、施設のコンセ

市民生活部長 11月末までの4つの貸室の利用者数は8千人を超えた。利用者同士の交流はあるものと思われ

が、多世代交流が積極的に図られているか、把握はできていない。

議員 公共施設を網羅しているtocco

バスを「さくらパル」を通るルートに変更できないか。

市民生活部長 今後の西循環ルート変更

市内の犯罪発生状況は

議員 本市の犯罪発生状況が埼玉県下においてワースト3位まで上がってきているが、犯罪を減らすための取り組みを聞きたい。

市民生活部長 犯罪は自転車盗、オートバイ盗が多いため、対策として防犯カメラの設置などを検討している。

議員 犯罪減少のため「犯罪ゼロの日運動」など検討いただきたい。

主な議案

一般質問

知つとこロワイズ

委員会視察レポート

特集議会を知つとこ